

県章



周囲は富士山と武田菱で美しい郷土を象徴しており、中のマークは、三つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現している。(昭和41年告示)

県の花「ふじさくら」



4月から5月にかけて、きびしい富士の風雪に耐えて、つつましやかに咲く花は、「和と忍耐」を表している。(昭和29年制定)

県旗



優雅なぶどう色を地に用い、中のマークは、県民の和と協力、囲りの富士山は清廉、潔白、純粋性を表している。(昭和41年告示)

県の動物「かもしか」



高山のきびしい自然に耐えて生きていることから、「忍耐・努力」を表している。本県では南アルプス、奥秩父、富士山などに生息。(昭和39年制定)

県の鳥「うぐいす」



春と告げる鳥として昔から人々に親しみ愛されている鳥で、他の鳥のひなを育てるといいうやさしい習性を持っていることから「明朗と慈愛」を表している。(昭和39年制定)

県の木「かえで」



その葉は、秋、霜をうけて紅葉する。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(高浜虚子)などと詠まれている。(昭和41年制定)